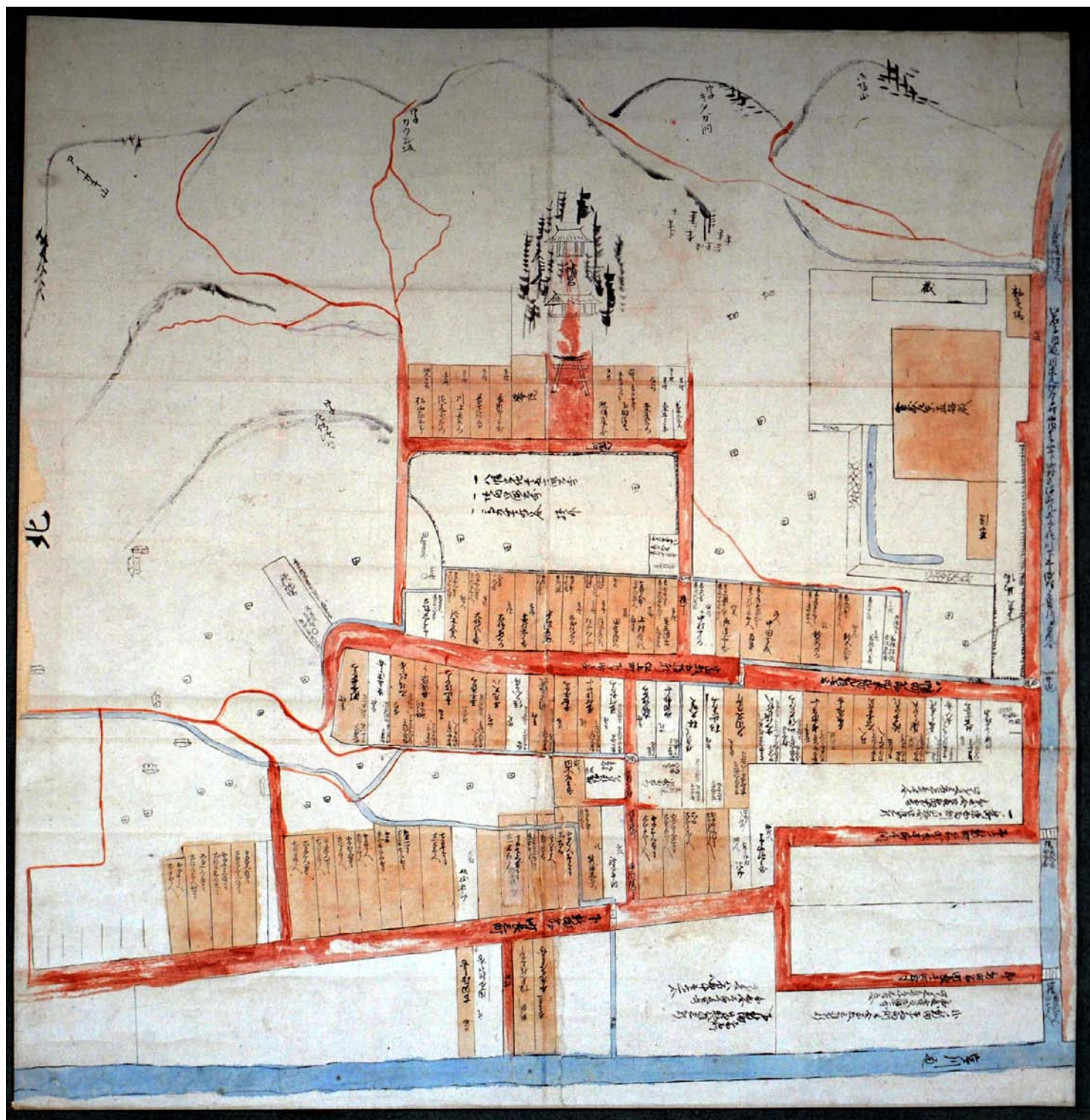




(第 20 図)

(22) 金森左京邸附近絵図 (第 20 図)

年代 元禄 5 年

寸法 89.2×75.2

所蔵 桜山八幡宮

この図は、金森左京邸を中心にした地区の絵図で、現在の町名は左京町、八幡町、大新町 1 丁目の一部、2 丁目の一部等の範囲である。

八幡町、一之新町、二之新町、下向町の内侍屋敷地の名前、役職、広さが記され、薄茶色の所が借家、白地が持家

と推定される。これらは金森家中の下階級武士および扶持人屋敷で、足輕・歩行・口留・古川組（能役者）・山廻・町廻・材木方・鷹匠・右筆・小頭・味噌奉行・紙奉行・金森伝八殿小人・金森左京殿用人・細工人・料理人等の役職名と 68 人の氏名が記される。

図中央上部に八幡宮が描かれ、その書き込みには「八幡宮地壱反七畝二十歩、境内四畝六歩、高九斗七升貳合境外」とあり、境内に延命院がある。また右上の金森左京直矩（分家 3,000 石）の屋敷には、茶隠・勘定場・蔵・馬場等が描かれる。また各町の家数は八幡町が 50 軒、一ノ新町が 45 軒、二ノ新町が 32 軒、下新町が 83 軒とある。その他八幡町筋北詰に鉄砲場があり、同筋から下新町筋へ通り抜けた所に小頭鈴木平内邸があることから、この通りは平内横町と呼ばれた。

※掲載されている情報（文章、写真など）は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。